

員の皆様や関係機関・団体と密接な連携を持ちながら、「町民一人ひとりが「事故に遭わない・事故を起こさない」との基本認識のもと、家庭・職場・地域が一丸となった交通安全運動を継続してまいります。

防犯対策につきましては、特殊詐欺等による高齢者を狙った悪質な事件が、次々と手口を代え巧妙化し発生している実態から、高齢者の多い本町におきましても憂慮すべき状況にあると認識しております。

今後とも連合町内会や防犯協会・警察等と連携し、高齢者世帯の見回りや声かけを行いながら、地域主体型の活動を支援し、子どもたちや高齢者が安心して生活できるまちづくりに努めてまいります。

消防体制につきましては、小平消防署の指令広報車を更新し、消防体制の充実強化を図ってまいります。

主な施策内容	予算額
橋梁両寿命化事業	162,500千円
町道舗装維持補修・普通河川維持工事	34,200千円
公営住宅修繕・建替事業	143,572千円
住環境整備助成金	3,000千円
住宅新築費等助成金	4,000千円
合併処理浄化槽整備事業	1,323千円
空き家等解体撤去補助、実態調査事業	10,568千円
デマンドバス運行、高砂橋光ケーブル移設事業	25,602千円
生活交通路線等維持費補助金	19,584千円
代替バス定期運賃差額補助金	2,849千円

交通の確保につきましては、生活バスの運行は、通学や通院、買い物など交通弱者の日常生活に必要なものであり

り、バス事業者への支援に努めてまいります。

また、町内から町外の高校に通う高校生に対し、バス定期運賃の一部助成を継続してまいります。

さらには、今後、高齢化の進行に伴い、地域内公共交通のニーズがさらに高まることから、幅広く利用できる交通体系となるよう交通事業者を始め関係機関と連携し、協議を進めてまいります。

防災減災対策につきましては、昨年は本町に大きな被害をもたらす災害の発生はありませんでしたが、「地域防災力」を高めるため、町と町内会等が一体となつて関係機関と連携し、防災・減災意識の向上に努めてまいります。

国道・道の整備につきましては、道路改良や適正な維持管理について、関係機関に要望してまいります。

国道におきましては、越波・土砂災害等の対策として、花岡、大根間3.7km区間の道路の嵩上げ工事である国道232号小平防犯の着実な実施に向けた継続要望をはじめ、「防災・減災 国土強靱化のための5カ年加速化対策」に基づいた、災害対策・老朽化対策・デジタル化等の推進について今後も要望してまいります。

道道におきましては、苦前小平線の事業化実現に向けた研究並びに整備促進に向け、引き続き要望してまいります。

移住・定住対策につきましては、本町の人口も減少の一途を辿り、加えて少子高齢化が進んでいる状況にあります。

過疎化の進行は基幹産業の衰退、地域コミュニティの崩壊などの面で大きな影響が想定されます。

こうした中、コロナ禍の影響により、全国的に移住を考える機運が高まっており、この機を逸することなく本年度も引き続き、移住フェアへ参画し、移住のPRを進めてまいります。

の充実を図るほか、居住環境の情報発信を進めてまいります。

さらには、地域力の維持・強化を図るため、都市部から地域おこし協力隊員を積極的に投入し、定住・定着を図ってまいります。



## 福祉施策

子ども・子育て対策につきましては、これまで子育てを地域全体で支え、子どもの成長を育む環境づくりを包括的に進めるため、「第2期小平町子ども・子育て支援事業計画」に基づく取組みにより、安心して子どもを産み、育てることができるとともに、子育てを推進してまいります。

本年度におきましても、引き続き、効果的な施策として、乳幼児医療費の全額助成、子育て世帯への経済的支援である「紙おむつ・パンツ廃棄」の支援や「出産・子育て応援給付金」の支給、仕事と子育ての両立を支援するための「放課後児童クラブ」の開設及び「小平幼児センター」での保育事業など、子育て世帯への切れ目のない支援体制の推進を図ってまいります。

また、町内各所の公園のうち、小平中央公園においては、既に令和4年度の補正予算で整備を進めているところであり、

本年度は、鬼鹿小公園の遊具を更新並びに臼谷地区においては遊具設置とともにイベント用広場を整備するところがあります。

高齢者福祉につきましては、高齢者の方々が、可能な限り住み慣れた地域で、安心して自立した生活ができるよう、

「高齢者交通費助成事業」や「緊急通報サービス支援事業」、「高齢者雪害対策支援事業」、さらには「家庭奉仕員による家庭訪問事業」などの日常生活を直接支える各種事業を継続し、高齢者の安心・安全な生活に一層配慮してまいります。

障がい者に対する支援につきましては、障がいのある方が、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、引き続き、障がい福祉サービスによる日常生活支援や就労支援に努めるとともに、障がい者を支える環境づくりを推進し、共に生きる地域社会の構築を進めてまいります。

主な施策内容	予算額
乳児等医療費助成(拡大部分)	5,772千円
鬼鹿小公園遊具設置、臼谷イベント広場整備事業	32,230千円
高齢者社会活動等参加ポイント事業	675千円
高齢者交通費助成事業委託	2,400千円
高齢者宅除雪支援事業	932千円
緊急通報サービス委託	1,853千円
障害者相談支援事業委託	1,300千円
高齢者宿泊助成金	300千円
町保育・託児事業補助金	6,570千円
学童保育事業	3,739千円



## 医療・介護施策

新型コロナウイルスの感染が国内で確認されてから3年余りが経過した今もお、感染力を高めながら変異を続けるウイルスにより、感染拡大の波が繰り返され、私たちの生活や社会経済活動は大きな影響を受け続けております。

この間、本町では、ウイルスの脅威から町民を守り、感染拡大を防ぐため、5回に及ぶワクチン接種を行ってまいりました。

ワクチン接種につきましては、町民皆様のご理解とご協力により、事故等もなく円滑に接種を完了することができました。

また今後、新型コロナウイルスは、感染症法上の位置付けの変更などにより新たな局面を迎えることとなりますが、本